

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成27年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
 年間 (4月～3月)

施設名	萩野センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

分類		年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)
開館日数 (日)		244	266	109.0%
延べ利用者数 (人)		4,000	3,291	82.3%
自主事業	実施回数 (回)	11	266	2418.2%
	利用者数 (人)	152	1,791	1178.3%
収入	指定管理料 (円)	13,908,000	13,908,000	100.0%
	利用料金収入 (円)	3,400,000	2,853,100	83.9%
	自主事業収入 (円)	3,888,000	1,193,200	30.7%
収入計 (円)		21,196,000	17,954,300	84.7%
支出	人件費 (円)	10,274,000	11,427,691	111.2%
	維持管理経費 (円)	7,034,000	5,260,128	74.8%
	自主事業関係経費 (円)	2,861,093	1,308,004	45.7%
	その他の支出 (円)	0	0	0.0%
支出計 (円)		20,169,093	17,995,823	89.2%
収支 (収入－支出) (円)		1,026,907	△ 41,523	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)		
【開館日数・利用者数について】 開館日数は自主事業を実施したことにより増加している。利用者数については計画より少ない状況にあるが、昨年度より改善がみられる。引き続き、啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 通所事業は要介護状態でない方を対象としたセンターであることを意識づけ、活動内容の改善を行った結果、利用者の自立への意識は向上した。自主事業にもさらに力を入れ、市民に期待される事業を展開している。	【収支状況について】 通所事業の収支は良好である。自主事業においては、利用者からの要望にも応えつつ、ニーズに合った企画を実施し、収支状況は徐々にではあるが上向き傾向である。
所管課の評価 (指摘事項)		
【開館日数・利用者数について】 計画より多く開館され、利用者数は計画よりも下回っているものの昨年度より更に増加している。今後も引き続き啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 利用者のニーズに合わせた通所事業内容やげんき応援事業が実施されており、意識の向上も見られ良好である。	【収支状況について】 通所事業・げんき応援事業ともに昨年度に比べて収入が増加しているが、引き続き指定管理期間中に収支の改善を図る必要がある。

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人 人員配置計画、実地、出勤簿	7人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年 研修マニュアル	実施回数 12回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
昨年度に引き続き、市との協議・指導を受けながら運用上の留意点の把握に努め、業務改善を図ることができました。通所事業においては、要介護状態でない方を対象としたセンターであるという意識づけを前面に出した結果、利用者の自立への意識が向上し、その結果、利用者数が向上しました。自主事業は広報掲載、口コミ、チラシ宣伝など様々な手段で市民に周知できつつあります。市民の皆様が元気になるような企画を実現化し、収支のバランスの適正化に努めながら継続的に運営をしていきます。
市による所見（指摘事項など）
利用者の自立への意識を向上させる事業を実施するなど、常に新しい取組をしようという姿勢が見られ、利用者数も増加し、市民サービスの向上が図られています。 引き続き事業内容等について創意工夫をするとともに、啓発・広報活動を継続し、事業の収支バランスの適正化に努めるようお願いいたします。